

あ い さ つ

エコチル調査 福島ユニットセンター
センター長 橋 本 浩 一

“福島のがお”を応援します

日頃はエコチル調査にご理解、ご協力を賜りまして感謝申し上げます。エコチル調査リクルート期間最終年度の福島ユニットセンターの活動状況を報告いたします。

平成23年1月31日からリクルートが開始されたエコチル調査は、当初、調査対象地域を福島市、南相馬市、双葉郡の8町村としました。開始間もない3月11日に東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故に見舞われ、双葉郡でのリクルートは中断せざるを得なくなりました。他方調査対象地域が限定されている本調査に対し、調査対象地域外の妊婦さんや医療機関から全県下での実施を望む声があり、平成24年10月1日から対象地域が59市町村に拡大されました。

調査対象地域が全県下に拡大されてからは瞬く間の1年半でしたが、特に最後の1年間は、多くの関係者に多大な負担をおかけしながらも、参加者のご理解に支えられ予想以上のスピードでリクルートが進められました。

エコチル調査は、3年間のリクルート期間が今年の3月31日に終了し、全国では参加者(妊婦さん)が目標の10万人を達成しました。

福島県全域のご家族に参加をお願いしている福島ユニットは、お母さん(妊婦さん)が13,132人、お父さんが8,180人、誕生した赤ちゃんが約9,922人と全体で約3万1千人の方々に本調査に登録していただいております。福島でのリクルート終了時の参加者同意率は約8割、カバー率は約5割でした。調査開始以来、「福島県の妊婦さんの2人に1人」が本調査に参加いただいたということです。さらに参加者からの質問票の回収率は約9割であり、本調査に熱心に取り組んでいただいていることが伺えます。本調査への県内のご家族からの期待の大きさと責任の重さを感じます。

また、リクルート終了に際し、産婦人科医療機関のスタッフから「達成感」というお言葉をお聞きしました。この「達成感」は、当然参加者のご理解、そして県内59市町村の担当者、52の産婦人科医療機関のスタッフ、約180人の地域運営協議会の委員、小児科医療機関のスタッフなど関係者の皆さま方の、当センタースタッフ70人へのご協力の賜物と思います。

特にリクルート最終年度は「草の根から」の考えに基づき、各医療機関で参加者へのていねいな説明、講演会、エコチルコンサート、6ヵ月児及び1歳半児とその親を対象とした茶話会(エコチルふれあい会)など様々な取り組みをしました。PRの一環として行なったキャラクターのネーミングコンテストでは福島県内外から1,095通の応募があり、全国からの反響の大きさには驚きました。決定したキャラクターの「こぼちる」は、福島県を代表する民芸品である起き上がり小法師をモチーフにしており、転んでも起き上がりすくすくと元気に育つ子ども(赤ちゃん)をイメージし、「子どもの健やかな成長」を願う想いが込められています。

当センターは、未来に向かって歩み始めた福島県の復興とともに、微力ながら「福島で産み育てる」ことをお手伝いすることを最大の課題とし、一方で、未来の子ども達に確かなエビデンスをプレゼントするため、参加者、関係者の皆さまと立ち止まることなく、一緒に成長し続けたいと考えます。私たちは“福島のえがお”を応援します。

平成26年6月

